

# レクボッチャ競技規則

## 1. 設備と器具

### (1) コート

コートは、コート図のとおりとする。

### (2) ボール

1 セットは、赤ボール6個、青ボール6個、白色のジャックボール（目的球）が1個である。

マイボールの使用も認める。ただし、競技前に必ず審判に申し出る事とする。

## 2. ゲーム方式

(1) チーム構成は、3名1組とし障害者2名以上とする。

(2) 競技は、**予選リーグは4エンド、決勝トーナメントは6エンド**で行う（申し込み数によって変更あり）。

1 エンドとは、両者が全てのボールを投げ終わったときとする。

(3) 投球は1人2球となる。ボールの変更は競技中にはできない。チーム内の投球順については規制しない。

(4) 選手は介助者に競技の補助（ランプの支えや車いすの介助など）をしてもらっても良いが、介助者は競技中コートの方向に振り返ってはいけない。

(5) 競技前にエントリーシートに選手名を記入し審判に渡す。4名以上エントリーしているチームの場合、選手交代を認める。ただし、交代はエンド間のみとする。その場合は審判に申し出る事とする。

※その他、選手の体調不良などにより交代する場合も審判に申し出てください。

## 3. 勝 敗

(1) 各エンドの得点を加算し、合計点がより多いチームの勝ちとする。同点の場合には、タイブレイクにより決定する。

(2) タイブレイクはジャックボールをクロス（コート図+）に置き、コイントスで先攻・後攻を決定し行う。投球は1人1投（チームで3投）とし、ジャックボールに一番近いチームの勝ちとする。タイブレイクは、ゲームの勝敗をつけるものであり、合計点に加算しない。また、両者に同数の得点が入らない限り1エンドで勝敗を決定する。

## 4. ゲームの展開

(1) コイントスで先攻（赤ボール）・後攻（青ボール）を決める。

(2) 1エンドは赤の1番の人が、白のジャックボールを投げる。ジャックボールが有効だった場合、続けて同じ人が赤ボールを投げる。ジャックボールが無効の場合は相手ボールとなり、青の1番がジャックボールを投げる。

（例）ジャックボールが無効とは、ジャックボール無効ゾーンでボールがとまったとき、もしくは、コート外に出てしまったとき。

(3) 赤1番→青1番と投げたら、次はジャックボールに近いボールが赤だったら青チームが投げる。

以下同様にジャックボールに遠い距離にあるチームが投げる。

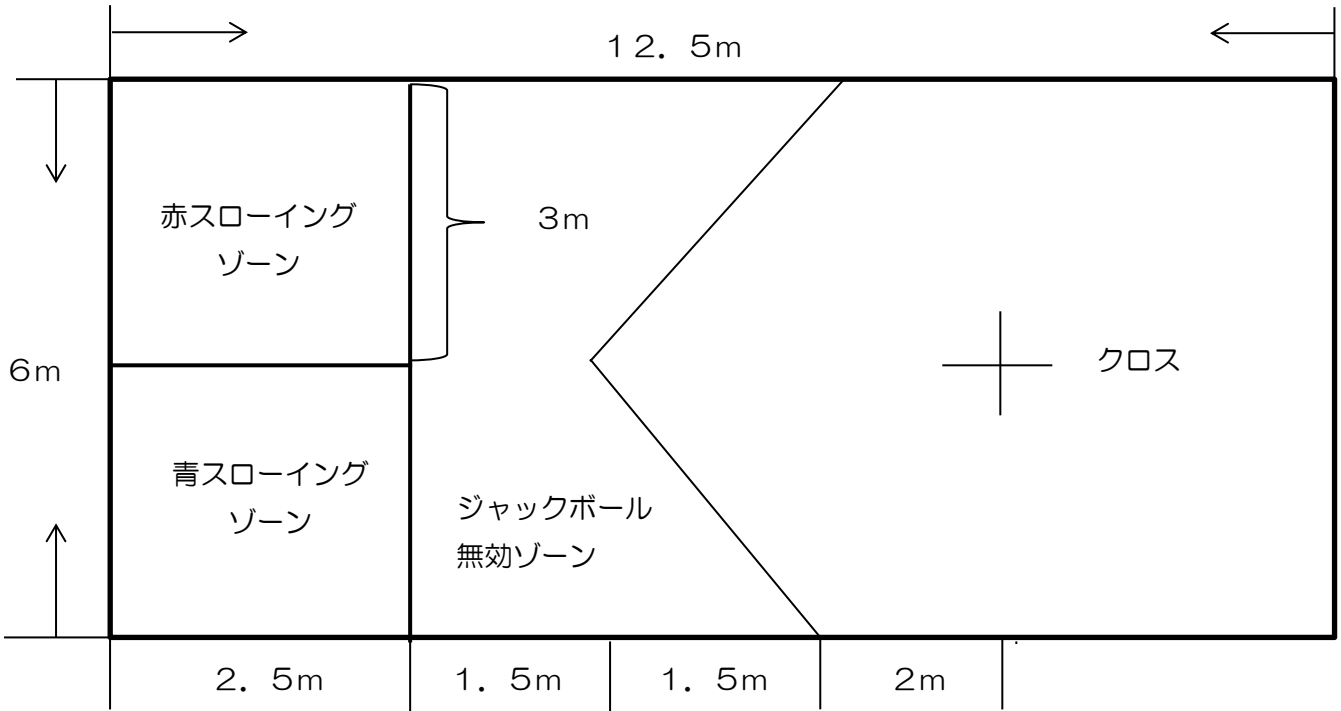
(4) スローイングゾーンの中であれば、どこから投げても良い。**チーム内（選手同士）**で相談しても構わない。

- (5) 以下の場合はファールとする。但し、1度目は注意（忠告）とし、ファールとカウントしない。
- A. エンド中、スローイングゾーンから移動する前に審判に許可を求めなかった場合
  - B. 線を越える、もしくは踏んで投げた場合（車いす、装具、杖を含む）
  - C. 補助具（ランプ）や、車いす介助者がスローイングゾーンのラインに触れる、もしくは超えて投球した場合（空間も含む）
  - D. 審判の指示板が出される前に投げた場合
- ※ファールとなったボールは、除外する。ペナルティーボールは無しとする。
- (6) 投げたボールや、ぶつけられたボールがコート外に出た場合には、アウトとなり出たボールは所定の場所に置く。ジャックボールがカラーボールにぶつけられコート外に出た場合は無効となる。無効になったジャックボールはクロス（コート図+）に置く。
- (7) 両チームが全てのボールを投げ終わったら、得点をつける。得点は、ジャックボールの一番近くに赤ボールがある場合は、ジャックボールとジャックボールから一番近くにある相手チームの青ボールまでの距離を半径にして円を描いて、その中に何個ボールがあるかを判定する。赤ボールが3個あれば、3対0で赤の勝ち。【得点例参照】
- (8) 審判がジャックボールを取り上げた時点でエンドが終了する。選手は異議がある場合、得点を発表してから審判がジャックボールを取り上げるまでの間に、手をあげ審判に申し出る。
- 選手は、ゲーム終了までいかなる場合であっても審判の了解を得てからでないとスローイングゾーンから出てはいけない。ゲーム中、進行等に異議がある場合は手をあげ審判に申し出ることを原則とする。
- (9) 1 エンドが終わったら、次は青が先行となり同じようにゲームを行う。

## 5. その他（競技上の注意点）

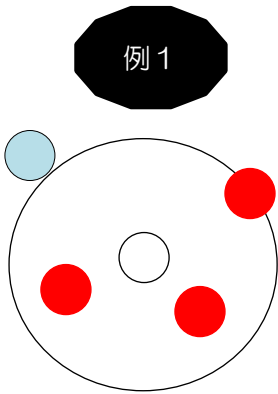
- (1) クラス分けは行わずオープンクラスとする。
  - (2) チームのエンドごとの持ち時間は適用しない。
  - (3) コート内のランプ介助者は、競技中はコートに背を向け、振り返る事はできない。また、ランプ介助者、身体介助者ともに、選手への競技について助言する事は、一切認めないものとする。
- ただし、コート外の定められた責任者による、重度の知的障害者や視覚障害者への助言については認めるが、相手チームの不利になるような助言は認めない。

【コート図】

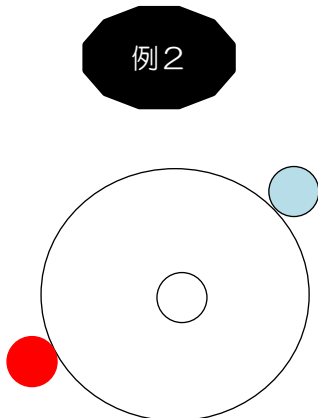


【得点例】

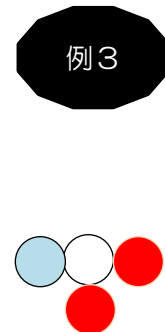
赤ボール ●  
青ボール ●



【得点】  
● 赤3点  
● 青0点



【得点】  
● 赤1点  
● 青1点



【得点】  
● 赤2点  
● 青1点